琉球大学学術リポジトリ

醗酵月桃のヒトに対するメラニン抑制効果について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 比嘉, めぐみ, 久保田, めぐみ, 与那覇, 恵, 藤原, 葉子, 稲福, 直, 稲福, 盛雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016728

醗酵月桃のヒトに対するメラニン抑制効果について

○比嘉めぐみ，久保田めぐみ，与那覇恵，藤原葉子*，稲福直，稲福盛雄
株式会社 琉球バイオリソース開発　*お茶の水女子大学生活科学部

【目的】我々はこれまで月桃に独自の発酵技術を用いた醗酵月桃(特許公開中2002－330725)について，血圧上昇抑制作用などがあることを報告してきた[1]．一方，月桃については皮膚繊維芽細胞増殖効果やコラーゲン合成促進作用などがあることが明らかとなっている[2]．さらに，醗酵月桃についても皮膚繊維芽細胞増殖効果があることを確認しており，また醗酵月桃茶抽出物のメラニン生成に及ぼす影響について，B16マウスメラノーマ細胞を用い試験した結果，メラニン量およびチロシナーゼ活性が対照群と比較して有意に減少することが明らかとなった[3]．さらにこの活性は醗酵月桃茶抽出物が直接細胞内に取り込まれたことにより，細胞内チロシナーゼに働いた可能性を示唆している．本研究では，醗酵月桃のヒトに対するメラニン抑制効果とヒト皮膚への肌物性に及ぼす影響について調べることを目的とした．

【方法】被験者は，平均年齢38．09±12．77（平均値±標準偏差)の女性21名で行った．摂取サンプルは，醗酵月桃エキス末を摂取しやすいよう錠剤に加工したものを用いた．醗酵月桃エキスは1日1200mg，2週間連続摂取していただき，摂取前後の2回，皮膚粘弾性測定装置（CUTOMETER MPA580: Courage+Khazaka 社(ドイツ))を使用し，肌の水分，油分，メラニン，エリスマ，弾力を測定した．結果については対応のあるt-検定で統計処理を行った．また，摂取前後での肌状態について実感としてどの程度あったかについて聞き取り，アンケート調査を行った．

【結果】メラニンについては，摂取前と比較して有意に値が減少していた．このことは，細胞レベルでの試験結果に追従するものでヒト皮膚においても十分にメラニン抑制効果があることがわかった．また，皮膚弾力についても増加傾向が見られた．月桃には皮膚繊維芽細胞増殖効果やコラーゲン産生促進効果があることが知られているが，それらが皮膚粘弾性に大きく影響していると示唆された．その他，エリスマについてはやや増加する傾向が見られ，肌の血行がよくなっていることが示唆された．水分，油分については顕著な変化は見られなかった．水分，油分はともに被験者の皮膚状態が比較的良好であったためさほど醗酵月桃摂取前後において数値の変化が見られなかったものと考えている．また，摂取前後の聞き取り，アンケート調査を行った結果，肌にはりがでた，肌つやがよくなった，化粧のりがよくなった，かさつきがなくなったなど実感として多くの良好な意見が得られた．

文献

1)日本食品科学工学会第49回大会講演集 p194

2)FOOD Style 21 p. 58 Vol. 5 No.8, 2001

3)第59回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 p125